

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成29年3月9日(2017.3.9)

【公開番号】特開2016-94602(P2016-94602A)

【公開日】平成28年5月26日(2016.5.26)

【年通号数】公開・登録公報2016-032

【出願番号】特願2015-219150(P2015-219150)

【国際特許分類】

C 08 L 101/00 (2006.01)

A 61 L 27/00 (2006.01)

C 08 K 5/3475 (2006.01)

G 02 C 7/10 (2006.01)

【F I】

C 08 L 101/00

A 61 L 27/00 D

C 08 K 5/3475

G 02 C 7/10

【誤訳訂正書】

【提出日】平成29年2月1日(2017.2.1)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式B-Xの化合物を含む調節可能な発色団であって、

ここで、

i) Bは、基礎発色団化合物であり、

i ii) Xは、調節可能な化学部分であって、該調節可能な化学部分は、所定の電磁放射線への曝露の際に、残りの化学部分(C)を形成し、それによって化合物B-Cを形成する、調節可能な化学部分であり、

i iii) 該化合物B-Cは、該化合物B-Xより大きな光吸収を提供し、

i iv) 該残りの化学部分(C)は、該残りの化学部分(C)の形成時に形成され、それによって該発色団化合物により高い光吸収を提供する共役二重結合を含み、

該基礎発色団化合物は、ベンゾトリニアゾール、ベンゾフェノン、アゾ色素および桂皮酸エステルからなる群より選択され、そして、該調節可能な化学部分Xは、ジシクロペントジエン、ジシクロヘキサジエン、シクロブタンまたはシクロヘキセンである、

発色団。

【請求項2】

前記基礎発色団化合物は、ベンゾトリニアゾールである、請求項1に記載の発色団。

【請求項3】

前記化合物B-Cは、UV光、青色光、もしくはその両方を吸収する、請求項1または2に記載の発色団。

【請求項4】

前記化合物B-Cは、青色光を吸収する、請求項1~3のいずれかに記載の発色団。

【請求項5】

前記調節可能な化学部分Xは、ジシクロペントジエンである、請求項1~4のいずれかに

記載の発色団。

【請求項 6】

ポリマー材料、および

該ポリマー材料内に分布した請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の調節可能な発色団化合物を含むレンズであって、

ここで、該材料は、より多量の前記化合物 B - C が、前記調節可能な化合物 B - X から形成されるにつれて、徐々により大きな波長の光を吸収し得る、
レンズ。

【請求項 7】

インビトロでレンズを調節する方法であって、

眼に該レンズを移植する前もしくは移植した後に、所定の電磁放射線を、請求項 6 に記載のレンズに方向付けて、前記化合物 B - C を形成する工程を包含する、方法。

【請求項 8】

インビオでレンズを調節するためのシステムであって、

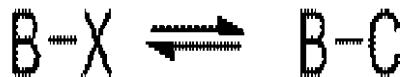
眼に該レンズを移植する前もしくは移植した後に、所定の電磁放射線を、請求項 6 に記載のレンズに方向付けて、前記化合物 B - C を形成するための手段を含む、システム。

【請求項 9】

調節可能な発色団システムであって、

反応系

【化 10】



の一部として、式 B - X もしくは B - C の化合物を含み、
ここで、

i) B は、基礎発色団化合物であり、

i i) X は、調節可能な化学部分であって、該調節可能な化学部分は、第 1 の所定の電磁放射線への曝露の際に、残りの化学部分 (C) を形成し、それによって、該化合物 B - C を形成する、調節可能な化学部分であり、

i i i) 該化合物 B - C は、該化合物 B - X より大きな光吸收を提供し、
該残りの化学部分 (C) は、該残りの化学部分 (C) の形成時に形成され、それによって該発色団化合物により高い光吸收を提供する共役二重結合を含み、

該基礎発色団化合物は、ベンゾトリアゾール、ベンゾフェノン、アゾ色素および桂皮酸エステルからなる群より選択され、そして、該調節可能な化学部分 X は、ジシクロペンタジエン、ジシクロヘキサジエン、シクロブタンまたはシクロヘキセンである、

発色団システム。

【請求項 10】

前記化合物 B - C は、分離可能な基 (S) の補助を伴いつかもしくは補助なしのいずれかで、第 2 の所定の電磁放射線への曝露の際に、上記化合物 B - X を形成する、請求項 9 に記載のシステム。

【請求項 11】

前記基礎発色団化合物は、ベンゾトリアゾールである、請求項 9 または 10 に記載のシステム。

【請求項 12】

前記化合物 B - C は、UV 光、青色光もしくはその両方を吸収する、請求項 9 、 10 または 11 に記載のシステム。

【請求項 13】

前記化合物 B - C は、青色光を吸収する、請求項 9 ~ 12 のいずれかに記載のシステム。

【請求項 1 4】

前記調節可能な化学部分 X は、ジシクロペニタジエンである、請求項 9 ~ 13 のいずれかに記載のシステム。

【請求項 1 5】

レンズであって、

ポリマー材料、および

該ポリマー材料内に分布した請求項 9 ~ 14 のいずれかに記載の調節可能な発色団システム

を含む、レンズ。

【請求項 1 6】

レンズをインビトロで調節する方法であって、

眼にレンズを移植する前もしくは移植した後に、所定の第 1 の電磁放射線を、請求項 1 ~ 5 に記載のレンズに方向付けて、前記化合物 B - C を形成する工程または所定の第 2 の電磁放射線を、請求項 1 ~ 5 に記載のレンズに方向付けて、前記化合物 B - X を形成する工程を包含する、方法。

【請求項 1 7】

レンズをインビオ調節するためのシステムであって、

眼に該レンズを移植する前もしくは移植した後に、所定の第 1 の電磁放射線を、請求項 1 ~ 5 に記載のレンズに方向付けて、前記化合物 B - C を形成するための手段または所定の第 2 の電磁放射線を、請求項 1 ~ 5 に記載のレンズに方向付けて、前記化合物 B - X を形成するための手段

を含む、システム。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 3】

上記調節可能な化学部分 (X) としての使用に適した部分の例としては、ジシクロペニタジエン、ジシクロヘキサジエン、シクロブタン、シクロヘキセンなどが挙げられるが、これらに限定されない。上記化学部分 (C) および上記分離可能な基 (S) の構造は、上記化学部分 (X) の構造によって必然的に決まり、特定の状況においては、逆もまたしかりであることが理解されるものとする。上記分離可能な基 (S) は、上記ポリマーのポリマーマトリクス内で結合し得、上記ポリマーマトリクス中に巻き込まれ得るが、どちらでもないことがあることもまた理解される。